

2024年3月27日
フロンティア・マネジメント株式会社
代表取締役 大西 正一郎

2023年度 当社取締役会の実効性評価の実施結果の概要について

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指しており、その実現には、取締役会の実効性を向上し、コーポレートガバナンスのより一層の実質化を図ることが必要と認識しています。

2023年12月期における取締役会の実効性を評価し、さらなる実効性向上のために対応すべき課題を認識しましたので、その概要を以下のとおり開示します。

1. 実効性評価方法の概要

(1) 評価方法の決定

2024年1月開催の取締役会において、従前のアンケート方式（対象者がアンケートの各設問に対して自由記述をすることで評価する方法）の有効性が認識されたため、2023年12月期の取締役会の実効性評価については、アンケート方式を継続するとの結論に至りました。

(2) 評価対象者

取締役（6名）及び監査役（2名）

※対象期間中に辞任した監査役を除く。

(3) 評価方法

- ① 2024年1月、評価対象者に対してアンケートを実施。
- ② 2024年3月開催の取締役会において、アンケート結果について意見交換の上、2023年12月期の取締役会の実効性評価を確定。

(4) 評価項目

「2022年度 当社取締役会の実効性評価」により認識した課題を踏まえて、当社の取締役会の実効性を更に向上させるために、実施すべき事項を審議のうえ、設問を作成しました。

2023年12月期アンケートの質問票の大項目は以下のとおりです。設問ごとに、10点で評価する方式としており、各設問に関する自由回答欄を設けています。

- ① 取締役、経営陣（執行役員等）に対する実効性のある監督について（6問＋自由回答）
- ② 人材の確保について（6問＋自由回答）
- ③ サステナビリティに係る取組について（3問＋自由回答）
- ④ その他、取締役会の機能について（2問＋自由回答）

2. 実効性評価結果の概要

(1) 取締役、経営陣（執行役員等）に対する実効性のある監督について

取締役会は、(i)経営戦略、経営計画、重要案件等について必要かつ十分な議論を行っている、(ii)内部統制やリスク管理体制を適切に構築し、取締役や経営陣（執行役員等）に対し、実効性のある監督をしている、(iii)監査役会・内部監査部門と十分連携を取っているといった肯定的な評価が得られました。

一方、当社グループの企業価値を中長期的に増加させるための経営戦略の議論について、さらに活発に行うべきである等の意見がありました。

(2) 人材の確保について

取締役会は、(i)取締役や経営陣（執行役員等）の指名・報酬制度は、当社の企業価値を向上させるために取締役会が取締役及び経営陣を監督するに当たり、適切に設計されている、(ii)取締役や経営陣（執行役員等）の指名・報酬制度は、当社の人材確保のために、適切に設計されている、(iii)指名・報酬諮問委員会は、取締役や経営陣（執行役員等）の人材確保について、適切に機能しているといった肯定的な評価が得られました。

一方、多様性と専門性のある人材の確保に向けて、さらに人的資本への投資が重要である等の意見がありました。

(3) サステナビリティに係る取組について

取締役会は、(i)サステナビリティに関する取組み（基本方針、マテリアリティ、推進体制等）について十分議論している、(ii)当社グループの持続的な成長と発展を実現するために、当社が取組むべき長期的戦略の議論をしている、(iii)豊かな地球環境と持続可能な社会への貢献を果たすために、当社が取組むべき長期戦略を議論しているといった肯定的な評価が得られました。

(4) その他、取締役会の機能について

社外取締役や社外監査役が闊達に意見を述べる事が出来る状態が確保されている、議案によっては結論を急がず、十分に議論を尽くす努力をしているといった肯定的な意見がありました。

一方、取締役相互の監査監督と内部統制・内部監査との連携について、さらに強化させる必要がある等の意見がありました。

3. 取締役会の実効性向上の取り組み

「2023 年度 当社取締役会の実効性評価」により認識した課題を踏まえて、当社取締役会の実効性を更に向上させるために、実施すべき事項を審議のうえ、2024 年度の方針を決定します。

以上